

1 県民生活文化課

<p>事業名</p>	<p>エシカル消費で未来を変えるプロジェクト事業</p>	
<p>第4次食育推進計画の位置付け</p>	<p>基本方向3-3、配慮すべき事項2</p>	
<p>趣旨</p>	<p>人や社会、地域、環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」について、県民に知ってもらい、その実践を促すため、SNSの活用やイベントによる普及啓発を行うとともに、エシカル商品・サービスに関わる多様な主体と連携し、その取組を推進する。</p>	
<p>主な取組</p>	<p>1 Instagramキャンペーンの実施 若年層を中心にエシカル消費への関心を高め、行動するきっかけをつくるため、Instagramでエシカル消費を実践した写真や動画をタグ付け投稿により募集し、投稿者の中から抽選で5名にエシカル商品詰め合わせセットが当たるキャンペーンを実施した。 【募集期間】 令和5年7月7日～12月6日</p> <p>2 期間限定エシカル商品売り場コーナーの設置 県内のスーパーマーケット等にて、店内に期間限定のエシカル商品売り場コーナーを設置し、POP等を活用して身近にあるエシカル商品を県民に周知した。 【実施店舗】 県内5事業者25店舗で実施。 ※時期及び期間は令和5年7月～11月の間で店舗により異なる。</p>	 <p>はじめよう! エシカル消費 Instagramキャンペーン</p> <p>2023 7.7 [金] ~ 12.6 [水]</p> <p>抽選で5名様に エシカル商品(5千円相当)を プレゼント!</p> <p>キャンペーンチラシ</p>  <p>売り場コーナー</p>
	 <p>はじめよう! エシカル消費</p> <p>Instagramキャンペーン実施中 7.7 [金] ~ 12.6 [水]</p> <p>売り場コーナー用POP</p>	

3 「親子で学ぼう！エシカル商品探しゲーム」イベントの実施

親子(小学生とその保護者)がエシカル消費をより身近なものとして考えるきっかけをつくるため、スーパーマーケットを会場として実際に売られているエシカル商品を探すゲームイベントを実施。

各認証ラベル商品の購入や地産地消など、エシカル消費の考え方を授業形式で学んだ後に売り場で商品を探してもらい、その後振り返りを行うという流れで実施した。

会場	開催日	場所	参加人数
八戸	令和5年10月14日	コープあおもりいけ店	24組 48名
弘前	令和5年11月4日	コープあおもり和徳店	24組 48名
五所川原	令和5年11月5日	カブセンター五所川原店	17組 34名
青森	令和5年11月11日	ユニバース東バイパス店	28組 56名
青森	令和5年11月12日	カブセンター大野店	16組 32名
計5回(4地域)		109組 218名	



イベントチラシ



当日の様子

4 青森県エシカル推進ネットワーク会議の開催

県産品を活用したエシカル消費を推進するため、農商工団体等(13機関)で構成する会議を3回開催し、取組状況等に関する情報共有を行った。※食の安全・安心推進課も構成員として参加。

【開催時期】第1回：令和5年7月25日

第2回：令和5年12月15日

※第2回会議を兼ねる形でエシカルセミナーを開催

第3回：令和6年2月20日(予定)

【場 所】あおもりスタートアップセンター

	<p>5 エシカルセミナーの開催</p> <p>企業がエシカル商品の開発や流通に取り組む意義やメリット等についての理解を深めるとともに、エシカル商品・サービスの開発や提供の取組を促進するため、県内企業向けのセミナーを1回開催した。</p> <p>【開催時期】 令和5年12月15日</p> <p>【場 所】 新町キューブ</p> <p>【参加人数】 31名</p>
<p>今後の取組方向</p>	<p>引き続き、関係団体等と連携しながらエシカル消費の普及・啓発に取り組む、県民のエシカル消費の認知度向上を目指す。</p>

2 環境政策課

事業名	「資源をきれいにまわそう」適正分別等推進事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向3-3
趣旨	リサイクル資源は「ごみ」ではなく「原料」であることについて、県民及び事業者の意識の転換・強化を促すため、適正分別等3Rを強力に推進する。
主な取組	<p>1 「やってみよう、てまえどり！キャンペーン」の実施</p> <p>陳列棚の手前にある賞味期限、消費期限の近い商品を積極的に購入する「てまえどり」を普及させるため、手前の商品に貼った応募シールで県産品があたるキャンペーンを量販店と連携して実施した。</p> <p>また、キャンペーンの初日に青森市内のスーパーにおいて、宮下知事による「てまえどり」の実演を実施した。</p> <p>【実施店舗】 県内スーパー等12社 計153店舗</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>やってみよう、てまえどり！ キャンペーン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>知事による「てまえどり」実演</p> </div> </div> <p>2 小学生対象の「3Rチャレンジブック」</p> <p>「3Rチャレンジブック」内で、「『食品ロス』をへらそうチャレンジ」として消費期限や賞味期限が近い商品をチェックし、食品ロスを減らす工夫を考えてもらった。また、ブック内で「てまえどり」と「3つのきる」を解説した。</p> <p>【実施校】 123校 【実施児童数】 8, 253人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>3Rチャレンジブック</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>エコキッズ認定証</p> </div> </div>
今後の取組方向	引き続き、食品ロス削減につなげるため、「てまえどり」や「3つのきる」などの普及啓発を行う。

3 がん・生活習慣病対策課

事業名	若年世代に向けた野菜摂取促進事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-2、1-3、配慮すべき事項2
趣 旨	野菜摂取量が少ない若年世代に届く周知内容や広報媒体の活用により、野菜摂取の促進や食習慣の改善を進め、県民の健やか力向上を図る。
主 な 取 組	<p>1 心に響く健康食生活の普及啓発</p> <p>(1) 若年世代向け啓発コンテンツ作成による普及啓発 最も変えやすい食習慣「食べる順番」に関する普及啓発コンテンツ（動画、テーブルステッカー、リーフレット）により、野菜に関心をもつきっかけをつくるため実施した。</p>  <p>(2) 野菜摂取促進キャラバン・ベジファーストセミナーの実施 県職員キャラバン隊が、県内大学で野菜摂取のPRを行った（動画上映、テーブルステッカー貼付、フードモデルの展示、ベジチェックの実施等）。</p>   <p>【実施大学（実施日）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弘前大学（R5年10月24日） ・青森大学（R5年10月27日） ・八戸工業大学（R5年11月1日） <p>職域における取組の推進を図るため、青森県健康寿命アップ推進会議の中で「野菜摂取促進セミナー」を開催し、委員所属団体へ、野菜摂取の重要性や手軽に取り入れられる実践方法等を周知した。</p> <p>【開催日】令和5年9月21日（金）</p> <p>【場 所】アップルパレス青森</p> <p>【対 象】健康寿命アップ推進会議委員（出席者：29名）</p> <p>【テーマ】「食生活改善セミナー ～意識を変える、行動も変える～」</p> <p>【講 師】カゴメ株式会社 健康事業部 担当課長 林宏紀氏</p>

(3) 謎解き×健康情報の発信

「#ベジトキ青森」WEBサイトで、野菜に関する謎解きをしながら、「野菜摂取の重要性」や「手軽に取り入れられる実践方法」を楽しく学ぶことにより、野菜に関心をもつきっかけをつくり、野菜摂取の促進を図った。謎解き正解者には抽選で豪華賞品を進呈した。



【期 間】令和5年9月4日(月)～令和5年11月30日(木)

【サイト閲覧数】22,559件*

【謎解き回答数】951件*

【賞品応募者数】809件(うち30代以下568件)

※R5.11.30時点

SNSを活用し、自分が食べた野菜の写真を投稿するハッシュタグキャンペーンを実施。野菜摂取の実践例を共有することで、投稿者本人だけでなく、閲覧者の野菜摂取促進も図った。写真投稿者には抽選で豪華賞品を進呈した。

【期 間】令和5年10月2日(月)～令和5年12月25日(月)

【投稿数】300件

2 心に届く健康食生活情報発信

上記について、ウェブ、SNSなどの若年世代向けのターゲットティング広報による情報発信を行った。

【情報発信媒体】

- ・謎解き：LINE(静止画・動画)、Instagram(静止画・動画)
- ・ハッシュタグ：Instagram(静止画)

今後の取組方向

- 1 R4、5年度に作成したコンテンツを活用した普及啓発を継続する。
- 2 「野菜摂取」に関する知識の普及だけでなく、野菜摂取の実践に向けた取組を継続する。

事業名	栄養改善対策事業「かんたん野菜レシピ普及事業」
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-1、1-2、1-3、配慮すべき事項2
趣旨	<p>青森県の成人一人1日野菜摂取量は目標量の350gから50g不足しており、特に若い年代や男性の一人暮らしの摂取量が低いため、簡単に作ることができる野菜レシピの普及により摂取量の増加を図る。</p>
主な取組	<p>1 かんたん野菜レシピの活用による野菜摂取量の増加</p> <p>青森県食生活改善推進員連絡協議会が県内各地域で実施する料理教室、食生活改善指導等において「かんたん野菜レシピ」の配布および試食提供を実施。</p> <p>【開催時期】 7月～2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやこの食育教室：11地区 ・全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト（うち、若者世代：6地区、働き世代6地区） ・その他食生活改善指導等 <p>健診や健康イベント時に試食提供、レシピ配付を実施。</p> 
今後の取組方向	<p>若い年代や男性等を主な対象として、引き続きかんたん野菜レシピを活用し、野菜摂取量の増加を図る。</p>

4 高齢福祉保険課

事業名	高齢者のフレイル予防推進事業 (つどいの場等での高齢者向け栄養改善研修)	
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-5、2-3	
趣旨	フレイル予防の柱である「栄養」について、「つどいの場」や講座に参加する高齢者等へ啓発を行う。	
主な取組	つどいの場等へ栄養士を派遣し、高齢者にフレイル予防に資する栄養改善研修を実施(6ヶ所予定)。	
	平川市でモデル的に高齢者のフレイル予防に資する講座(アクティブシニア)を実施(うち栄養に関する講座6回)。	
	実施日(予定含む)	延べ参加人数
	8/31、9/28、10/26、 12/25、1/29、2/26	集計中
今後の取組方向	・R4～R5の重点事業。R6もR5と同様につどいの場等でフレイル予防に資する栄養改善研修を実施予定。	

5 農林水産政策課

事業名	農山漁村女性が伝え継ぐ青森の食と技魅力創造事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向3-2
趣旨	本県の郷土料理の魅力を幅広い世代、県内外へ情報発信するとともに、作り手である農山漁村女性起業の技術、事業の継承を推進する。
主な取組	<p>1 伝承すべき郷土料理、食文化の情報発信</p> <p>(1) 本県郷土料理の整理とレシピ集の作成、動画配信 郷土料理をより身近に感じてもらうため、少ない材料で簡単にできる郷土料理40品を選定し、レシピ集を作成。また、特に作業工程が多い郷土料理8品を選定し、動画配信を実施。</p>  <p>レシピ集に掲載された郷土料理</p> <p>(2) 農家レストランキャンペーンの実施 郷土料理の作り手である農山漁村女性が経営する農家レストランで郷土料理を食べる機会の創出につなげるため、県内31店舗が参加した農家レストランキャンペーンを11月に実施。</p> <p>2 食文化・事業継承の推進</p> <p>農山漁村女性を対象に、ベテランから若手へ調理技術を伝承するための調理実習や情報交換等を県内6県民局で12回実施。</p> <p>(1) 東青地域県民局地域農林水産部</p> <p>ア【開催日】 令和5年12月19日 【場所・人数】 青森県総合社会教育センター 10人 【内容等】</p> <p>(ア) 調理実習 ・郷土料理「すしこ」づくり体験 講師：合同会社津軽の暮らしラボ役員 吉田涼香氏</p> <p>(イ) 講話、事例紹介 ・地域に伝わる食文化の普及拡大を目指した活動について 講師：合同会社津軽の暮らしラボ代表社員 傳法谷菜美保氏</p> <p>(ウ) 情報提供・意見交換 ・東青地域の郷土料理に関する調査結果について</p> <p>イ【開催日】 令和6年1月18日 【場所・人数】 アピオあおもり 10人</p>

【内 容 等】

(ア) 調理実習

- ・ 伝統料理「おはぎ」づくりのコツを学ぼう！

講師：JA青森野菜直売所「げんき畑」会員 佐藤智子氏

(イ) 事例紹介

- ・ 女性起業組織が取り組む伝承活動について

紹介者：JA青森野菜直売所「げんき畑」会長 徳差知子氏

(ウ) 意見交換

- ・ 地域の食文化を伝え継ぐために

(2) 中南地域県民局地域農林水産部

ア【開催日】令和5年12月12日

【場所・人数】弘前市中央公民館岩木館 10人

【内 容 等】

調理実習

- ・ 簡単にできる漬物とおやつ ～「赤かぶの千枚漬け」、
「大根のしょうゆ漬け」「がっばらもち」～

講師：四季彩館友の会会員 齋藤美代子氏

イ【開催日】令和6年1月18日

【場所・人数】弘前市清水交流センター 11人

【内 容 等】

調理実習

- ・ お祝いの時に食べたい料理 ～「赤飯」、「茶碗蒸し」、
「紅白なます」～

講師：巧みなママねっと会員 藤田美代子氏

(3) 三八地域県民局地域農林水産部

ア【開催日】令和5年9月11日

【場所・人数】八戸市立根城公民館 11人

【内 容 等】

調理実習

- ・ 「せんべいおこわ」と「すましで作る煮しめ」を学ぼう

講師：さんのへ農産加工友の会会長 工藤哲子氏

会員 水梨たつ子氏

イ【開催日】令和5年12月15日

【場所・人数】八戸市立根城公民館 16人

【内 容 等】

調理実習

- ・ 「よもぎだんご」と「焼きりんご大福」を学ぼう

講師：五戸町 竹洞雍子氏、米田エヤ子氏

(4) 西北地域県民局地域農林水産部

ア【開催日】 令和5年9月12日
【場所・人数】 つがる市生涯学習センター松の館 10人
【内容等】

調理実習

・「いか飯」「と漬け」「サザエ粕漬け」

講師：中泊町 角田留美子氏、深浦町 兼平幸子氏、
深浦町 山本ミサ子氏

イ【開催日】 令和5年11月16日
【場所・人数】 つがる市生涯学習センター松の館 19人
【内容等】

調理実習

・「茶碗蒸し」「すしこ」、りんごを使った和菓子

講師：つがる市 中村嘉子氏
スマイル&スプーンキッチン 高谷優子氏

(5) 上北地域県民局地域農林水産部

ア【開催日】 令和5年9月1日
【場所・人数】 十和田市東コミュニティセンター 17人
【内容等】

(ア) 調理実習

・夏野菜を活用した漬物の作り方 ～なす、きゅうり、キャベツ～

講師：十和田市 青木安子氏

(イ) 情報交換

・上北地域に伝わる漬物について

講師：十和田市 青木安子氏

イ【開催日】 令和5年12月21日
【場所・人数】 十和田市東コミュニティセンター 31人
【内容等】

調理実習

・発酵料理を学ぼう～糀及び甘酒の活用方法～

講師：良庵 松本圭央里氏

(6) 下北地域県民局地域農林水産部

ア【開催日】 令和5年9月14日
【場所・人数】 むつ市中央公民館 12人
【内容等】

調理実習

・かんなかけいもを使った「ぼおりもち」

講師：つつじの会代表 杉沢光子氏



イ【開催日】 令和5年12月6日
【場所・人数】 むつ市中央公民館 5人
【内容等】

調理実習

・「いか寿司」

講師：べこもち工房代表 葛西恭子氏



3 食に着目した地域共生社会につながる地域活動のモデル実証

農山漁村女性が得意とする「食」をテーマに、郷土料理の伝承活動、料理教室やマルシェ等の開催、地域内外の住民を対象とした多世代交流、子育て世代の親が集える場所作り等、7件が域課題解決につながるモデル実証を実施。



料理教室の開催(下北地域)

今後の取組方向

郷土料理の情報発信や、農山漁村女性による地域活動の取組について支援していく。

6 総合販売戦略課

事業名	学校給食あおり産品供給・利用拡大事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-2
趣旨	学校給食における県産食材の利用拡大に向けて、学校栄養士を対象とする研修やメニュー提案、県産加工品のPRを行った。
主な取組	<p>1 学校給食用食材の供給拡大 生産者から生産現場の現状を聞き取り、学校給食への納入に向けた会議を開催。</p> <p>2 県産食材・加工品の利用拡大 (1) 県産食材を使用した加工品のPR 学校栄養士向けに、県産農林水産物を使用した学校給食向け加工品のPRを実施。(試食・展示会なし、資料提供) (2) 農業生産現場を見学する研修会 学校栄養士を対象に、地元の野菜や果樹に対する理解を深めてもらうための現地研修会を開催。 【実施日】 令和5年8月8日(火) 【場 所】 弘前市十面沢、青女子 【参加人数】 学校栄養士等11名</p>  <p>3 生徒への県産品PR (1) 県産米新品種「はれわたり」が学校給食に提供されたことから、中学校の生徒を対象に、県産米のPRを実施。 【実施日】 令和5年12月12日(火) 【場 所】 小中一貫三戸学園 三戸中学校 【対 象】 9学年(中学3年生)生徒60名 (2) 中国における禁輸措置の影響緩和に向けた陸奥湾産ホタテの消費拡大の一環として、中学校において生徒が考案した陸奥湾産ホタテを使用したメニューを提供。 【実施日】 令和5年12月14日(木) 【場 所】 蟹田中学校 【対 象】 全校生徒45名</p>  
今後の取組方向	関係団体と連携しながら、学校給食における県産食材の利用率向上に向けた取組を継続する。

事業名	「だし活」による減塩ムーブメント創出事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-1、1-3、1-4
趣 旨	<p>「健康寿命の延伸」及び「地産地消の推進」に向けて、塩分控えめでも美味しい「だし活」商品の開発促進、普及啓発イベントの開催による県民のだし活気運の醸成、食生活改善推進員等と連携した子どもの頃からの食習慣づくりに取り組んだ。</p>
主な取組	<p>1 企業による「だし活」商品の開発促進 県内企業等を訪問し、青森県産素材を活用しだし商品及び減塩商品の開発・販売を依頼。12商品販売。</p> <p>2 「だし活」気運の醸成 「だし活+だす活」アンバサダーに任命している料理研究家の大原千鶴氏を招いて、「だし活」10周年を契機とした県民参加型イベントを実施。 【開催日】 令和5年9月3日（日） 【場 所】 ホテル青森 孔雀の間 【参加人数】 200名</p>  <p>3 子どもの頃からの「だし活」「だす活」の実践・定着 青森県食生活改善推進員連絡協議会会員が乳幼児健診等の機会を活用して「だし活」「だす活」の普及啓発活動を実施。 160回（R5.12月末現在）</p>
今後の取組方向	<p>県内食品製造企業や大手メーカー等と連携して、県産食材の活用と併せて手軽に美味しく食することができる減塩総菜等を開発するとともに、企業等と連携して「だし活+だす活」を周知し、地産地消の推進と減塩の意識啓発を行う。</p>

7 食の安全・安心推進課

事業名	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業												
第4次食育推進計画の位置付け	<p>取組1 全て</p> <p>取組2 (1) 基本方向1-1、1-5、2-2、2-3 (2) 基本方向1-5、3-1</p> <p>取組3 基本方向1-1、1-2、1-5</p> <p>取組4 基本方向2-1</p> <p>取組5 基本方向2-1</p> <p>取組6 基本方向1-2、3-1</p> <p>取組7 基本方向1-5</p>												
趣 旨	<p>全県的な食育推進体制の充実のため、「青森県食育推進会議」を設置して本県の食育推進対策についての意見・提言を徴するとともに、食育関係者・団体等による地域の実情に即した食育の推進のため、人材育成活動支援を行う。</p>												
主な取組	<p>取組1 青森県食育推進会議の運営</p> <p>生産、流通から消費、医療、保健、福祉、教育、行政など関係各分野の委員で構成し、食育推進施策について意見・提言を徴する。</p> <p>【開催時期】 令和6年2月5日</p> <p>【場 所】 ホテル青森 「善知鳥」</p> <p>【参加者】 47名</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の食育に係る主な取組実績について ・第4次青森県食育推進計画の進捗状況について ・令和6年度の食育に係る県の取組計画について <p>取組2 地域の団体等による食育活動（食育活動実践プロジェクト事業）の実施</p> <p>公募により選定した民間団体等への委託事業として、地域の実情に応じた食育活動を実施。</p> <table border="1" data-bbox="475 1597 1422 2047"> <thead> <tr> <th data-bbox="475 1597 628 1630">県民局等</th> <th data-bbox="628 1597 839 1630">実施団体</th> <th data-bbox="839 1597 1422 1630">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="475 1630 628 1912" rowspan="2">東青地域 県民局地 域農林水 産部</td> <td data-bbox="628 1630 839 1738">青森市食生活 改善推進員会 (青森市)</td> <td data-bbox="839 1630 1422 1738">園児対象の食育講座の開催 ・食育レッスン&クッキング (6回)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="628 1738 839 1912">青森農業協同 組合女性部 南地域女性部 (青森市)</td> <td data-bbox="839 1738 1422 1912">地域の小学生等を対象とした調理体験等 ・食育に係る講話と米粉スイーツ調理体験 ・稲刈り体験 ・収穫祭 ・食育アルバムの作成</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 1912 628 2047">中南地域 県民局地 域農林水 産部</td> <td data-bbox="628 1912 839 2047">弘前市食生活 改善推進員会 (弘前市)</td> <td data-bbox="839 1912 1422 2047">親子対象の食育講座等の開催 ・体験講座 (3回) ・発表回ポスター作り (1回) ・発表回 (1回)</td> </tr> </tbody> </table>		県民局等	実施団体	内 容	東青地域 県民局地 域農林水 産部	青森市食生活 改善推進員会 (青森市)	園児対象の食育講座の開催 ・食育レッスン&クッキング (6回)	青森農業協同 組合女性部 南地域女性部 (青森市)	地域の小学生等を対象とした調理体験等 ・食育に係る講話と米粉スイーツ調理体験 ・稲刈り体験 ・収穫祭 ・食育アルバムの作成	中南地域 県民局地 域農林水 産部	弘前市食生活 改善推進員会 (弘前市)	親子対象の食育講座等の開催 ・体験講座 (3回) ・発表回ポスター作り (1回) ・発表回 (1回)
県民局等	実施団体	内 容											
東青地域 県民局地 域農林水 産部	青森市食生活 改善推進員会 (青森市)	園児対象の食育講座の開催 ・食育レッスン&クッキング (6回)											
	青森農業協同 組合女性部 南地域女性部 (青森市)	地域の小学生等を対象とした調理体験等 ・食育に係る講話と米粉スイーツ調理体験 ・稲刈り体験 ・収穫祭 ・食育アルバムの作成											
中南地域 県民局地 域農林水 産部	弘前市食生活 改善推進員会 (弘前市)	親子対象の食育講座等の開催 ・体験講座 (3回) ・発表回ポスター作り (1回) ・発表回 (1回)											

西北地域 県民局地 域農林水 産部	株式会社 SATO FARM (鱒ヶ沢町)	りんごの知識や良さを広めるための絵本製 作や農業体験等の実施 ・食育活動に使用するりんごの絵本製作 ・農業体験 (1回) ・絵本の読み聞かせと園児への配布 (1回) ・りんごクッキング体験の実施 (1回)
	チームなない ろ (つがる市)	伝統調味料である味噌について学ぶ講座の 開催 ・味噌玉づくり体験会 (1回)
上北地域 県民局地 域農林水 産部	NPO 法人情熱 七戸 (七戸町)	縄文時代の食文化を学ぶ食育講座の開催等 ・親子食育講座 (4回) ・リーフレットの作成・配布
下北地域 県民局地 域農林水 産部	特定非営利活 動法人シェル フォレスト川 内 (むつ市)	地域の漁業や魚を学ぶ講座等の開催 ・脇野沢の魚について学ぶワークショップ (1回) ・脇野沢の魚の料理教室 (2回)
	笑顔あふれる 料 理 教 室 HAKKO FUNA- BAR (むつ市)	伝統的な発酵食品についての理解を深める ための講座等の開催 ・朝ごはん講座 (1回) ・発酵料理教室 (1回)
食安課	一般社団法人 フェリーチェ あおもり (青森市)	親子対象の農作業体験会の開催 ・親子農作業体験会 (5回)
	あおもり水土 里ネット女性 の会 (青森市)	農林漁業や県産食材の理解促進のための講 座等の開催 ・魚食セミナー・調理実習 (1回) ・料理レシピコンテスト (1回)
合 計		10プロジェクト

(1) 親子対象の食農体験会の開催

【委 託 先】一般社団法人フェリーチェあおもり(代表理事 鈴木杏子)

【取組目的】県産の農産物の季節ごとの旬を学び、県や地域への愛着心を育むとともに、親、子の世代が共に食育活動に取り組むことにより、地産地消や地域ぐるみでの食育推進に結びつける。

【内 容】親子食農体験会の開催 (5回)

ア 開催日時及び場所

令和5年7月22日、9月2日、9月16日、10月14日、
11月3日 (すべて青森市内)

イ 参加者 延べ169名

ウ 内容

野菜の収穫や植え、稲刈り等の体験のほか、収穫した野菜等をその場で調理して食した。



(2) 魚食等を学ぶ会と料理レシピコンテストの開催

【委託先】あおもり水土里ネット女性の会（会長 山崎順子）

【取組目的】幅広い世代に、農林漁業の重要性を再認識してもらうとともに、青森県産の食材に対する理解と愛着を深めてもらい、県産食材を利用した健康的な食生活の実現を目指す。

【内 容】

ア 魚食等を学ぶ会

(ア) 開催日時及び場所

令和5年9月4日 アピオあおもり（青森市）

(イ) 参加人数 18名

(ウ) 内容

漁業についての講義、県産海産物を使用した調理体験及び勉強会を実施し、フェイスブックで情報発信した。



イ 料理レシピコンテスト

(ア) 開催日時及び場所

募 集 9月1日～29日

審査会 10月13日 青森県土地改良会館（青森市）

表彰式 11月17日 青森県土地改良会館（青森市）

(イ) 応募作品数 17作品

(ウ) 内容

青森県産のブロッコリーを使用した料理レシピコンテストを開催し、上位4品を選定。フェイスブックで情報発信した。

取組3 あおもり食育サポーターの活動支援

地域の保育所・学校などにおいて、食に関する講話、郷土料理などの調理実習や農林漁業体験の指導などを実施するボランティアを「あおもり食育サポーター」として登録。

保育所・幼稚園、学校、地域等からの要請に応じて食育サポーターを派遣し、食育活動を実施。（事務局：青森中央短期大学に委託）

＜参考＞あおもり食育サポーター登録状況（R6.1現在）

東青	中南	三八	西北	上北	下北	合計
39	27	16	11	14	5	113

取組4 青森県食育指導者研修会の開催

あおもり食育サポーター等の食育指導者の資質向上を目的とした研修会を開催。



【開催時期】 令和6年1月16日

【場 所】 東奥日報新町ビル
New's ホール催事場C

【内 容】 講義「調理実習の際の食中毒予防」

【講師】 管理栄養士 阿部直子氏

演習「食育教材の活用」

【参加人数】 18名

取組5 あおもり食育検定運營業務の支援

青森県の豊かな農林水産物や食文化など、「あおもりの食」の素晴らしさを県内外や次世代に伝え、普及啓発の機運を高めるため、「あおもりの食」を中心とした「食」にかかわる知識を問う検定を年1回実施。（あおもり食育検定委員会（事務局：青森中央短期大学）主催）

【試験日】 令和5年11月12日

取組6 食育県民運動推進事業

消費・安全対策交付金交付等要綱（地域での食育の推進）に基づき、市町村等が行う食育活動について補助金を交付。

【事業実施主体】 弘前市

【補助率】 1／2以内

【内 容】 農林漁業体験の機会の提供

	<p>取組 7 市町村食育推進計画に係る情報交換会</p> <p>本県の食育を一層推進するため、市町村食育推進計画策定担当者や県民局職員を対象に、当該計画の策定に向けた情報共有を図る。</p> <p>【開催時期】 令和5年12月21日</p> <p>【場 所】 新町キューブ3階 会議室</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村食育推進計画の作成支援に向けて（オンライン） 講師：農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課 食育計画グループ企画専門職 水越瑛理氏 ・青森県食育推進計画及び青森県健康増進計画について 説明：食の安全・安心推進課職員 がん・生活習慣病対策課職員 ・事例紹介（オンライン） 説明：むつ市健康づくり推進課 栄養主任 小島美鈴氏 <p>【参加人数】 58名</p>
<p>今後の取組方向</p>	<p>引き続き食育指導者の育成とその活動を支援し、全県的な食育推進体制の充実を図る。</p>

事業名	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業 地域食育ネットワーク協議会の運営
第4次食育推進計画の位置付け	取組1(東青) 基本方向1-1、1-5 取組2(中南) 基本方向1-5、3-3、配慮すべき事項2 取組3(三八) 基本方向1-5 取組4(西北) 基本方向1-5 取組5(上北) 基本方向3-3、配慮すべき事項2 取組6(下北) 基本方向1-5
趣 旨	地域県民局単位に協議会を設置し、地域の食育推進に係る情報交換及び研修等を実施。
主な取組	<p>取組1 東青地域食育推進ネットワーク協議会の開催 東青地域食育推進ネットワーク協議会を開催し、地域の食育推進に係る情報交換会や研修会を実施する。 【開催時期】 令和5年12月6日(水) 【場 所】 青森県火災共済会館3階小会議室 【参加者】 14人 【内 容】</p> <p>1 事例紹介「令和5年度食育活動実践プロジェクトについて」 (1) 青森市食生活改善推進員会 会長 山谷詠子氏 (2) (一社)フェリーチェあおもり代表理事 鈴木杏子氏</p> <p>2 情報交換 (1) 取組紹介 ・食の安全・安心推進課 主幹 平井望 ・ネットワーク協議会の各構成機関・団体 (2) 方法交換・その他</p> <p>取組2 令和5年度中南地域食育ネットワーク協議会研修会 第4次「青森県食育推進計画」(令和3～7年度)に基づき、地域の食育活動の推進を図る。 【開催時期】 令和6年1月19日(金) 【場 所】 青森県農業共済組合ひろさき支所 【内 容】</p> <p>1 講義 テーマ:青森県における「エシカル消費」に関する取組について ・エシカル消費とは 講師:青森県消費生活センター 業務部 教育啓発課長 増田あけみ氏 ・エシカル消費で未来を変えるプロジェクト事業について 講師:青森県環境生活部 県民生活文化課 消費生活・公益法人グループ 主査 鈴木良佳氏</p>

2 講義 テーマ：青森県における「食品ロス」に関する取組について

講師：青森県環境生活部 環境政策課

循環型社会推進グループ 主査 工藤綾子氏

3 本県の食育の取組紹介

(1) 中南地域における食育取組事例

令和5年度青森県食育活動実践プロジェクトについて

紹介者：弘前市食生活改善推進員会 会長 斎藤明子氏

(2) 県の食育関連事業について

紹介者：青森県食の安全・安心推進課

企画調整グループ 主幹 平井望

4 意見交換、その他

取組3 三八地域ネットワーク協議会

三八地域における食育関係のネットワークづくりを進めるため、食育関係者・団体・行政機関等で構成する三八地域食育ネットワーク協議会を運営し、推進体制の強化を図る。

1 開催日 令和5年12月7日(木)

2 場所 グランドサンピア八戸2階白神

3 出席者 三八地域食育ネットワーク協議会委員 16名

4 内容

(1) 講演 「共食の場」での幅広い世代に対する食育活動

講師：八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科

准教授 佐藤千恵子氏

(2) 取組紹介 子ども食堂や食材配布等「食の支援活動」について

～すこやかこども食堂 情熱テーブルの取組～

紹介者：NPO法人みらい希望アシスト 理事長 坂上努氏



取組4 西北地方食育ネットワーク協議会情報交換会

西北管内の食育の取組について情報を共有し、構成機関・団体間の連携強化により、管内の食育活動の推進を図る。

開催日：令和6年2月5日（月）（予定）

開催場所：五所川原合同庁舎 B・C会議室

対象者：西北地方食育ネットワーク協議会

内容：（1）西北管内の取組についての紹介及び情報共有

（2）事例紹介

いこいの広場 ここまるの活動について

チームなないろ 代表 川村沙織氏

（3）県の取組についての情報提供

取組5 上北地域食育ネットワーク協議会研修会

第4次青森県食育推進計画の目標である「健康で活力に満ちた『暮らし』と持続可能な『食』の実現」の達成に向け、上北地域における食育の取組を推進する。

1 開催時期 令和5年11月29日（水）

2 開催場所 十和田おいらせ農業協同組合本店 3階大会議室

3 参加者 16名

4 内容

（1）話題提供1「青森県における『食品ロス』に関する取組」

講師：青森県環境生活部環境政策課 工藤綾子氏

（2）話題提供2「エコ消費で未来を変えるプロジェクト事業について」

講師：青森県消費生活センター業務部 増田あけみ氏

青森県環境生活部県民生活文化課 鈴木良佳氏

（3）食育に関する意見交換



食品ロスに関する話題提供



各機関の活動に関する意見交換

	<p>取組 6 下北地域ネットワーク協議会による食育の推進</p> <p>「攻めの農林水産業」推進下北地方本部会議において取組実績等を説明し、管内市町村と情報共有等を図ることで、地域食育ネットワーク協議会の代替としている。</p> <p>管内市町村では、市町村食育推進計画等に基づき、地域の特色を生かした食育を推進しているが、下北地域における総合的な推進も図る必要がある。</p> <p>地域食育ネットワーク協議会を開催し、地域の実情を踏まえた食育のあり方等の検討と情報共有を図る。</p>
<p>今後の取組方向</p>	<p>地域食育ネットワーク協議会の活動を通じて、地域や各団体内の農林、保健、教育等の部署間の連携が更に図られるよう、食育県民運動の円滑かつ効果的な推進を図る。</p> <p>また、市町村食育推進計画の策定率が、昨年度より下がっていることから、更新時期を迎える市町村に対し、地域ネットワーク協議会の取組を通じて、市町村食育推進計画の策定を推進する。</p>

事業名	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業 地域の団体等による食育活動（食育活動実践プロジェクト事業）の実施
第4次食育推進計画の位置付け	取組1（東青） 基本方向1-1、1-5 ----- 取組2（中南） 基本方向1-1 ----- 取組3（西北） 基本方向1-1、1-2、1-5 ----- 取組4（上北） 基本方向1-1、3-3、配慮すべき事項2 ----- 取組5（下北） 基本方向1-1、1-5
趣旨	地域の実情に応じた食育活動を実施 地域における自発的かつ継続的な食育活動を促進するため、地域団体に委託し、実施。
主な取組	<p>取組1 東青地域県民局地域農林水産部 （1）青森市食生活改善推進委員会（青森市） 食べ物に興味を持ち、食事を楽しめるよう、市内の保育園等に訪問し、食べ物の働きを知るためのゲームを活用した食育レッスンと、おにぎらずのクッキングを実施する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="451 869 927 1218" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="962 869 1437 1218" data-label="Image"> </div> </div> <p style="text-align: center;">食育レッスン（色分けゲーム）</p> <p style="text-align: center;">赤、黄、緑のバランスを考えておにぎらずの食材を選ぶ</p> <p>ア 蛸貝保育園 【開催日】令和5年10月25日（水） 【参加者】園児15名 イ 認定こども園ひのき 【開催日】令和5年11月9日（木） 【参加者】園児14名 ウ 認定こども園さんない 【開催日】令和5年12月6日（水） 【参加者】園児12名 エ 認定こども園いしえこども園 【開催日】令和5年12月14日（木） 【参加者】園児20名 オ 青森中央短期大学附属第三幼稚園 【開催日】令和5年12月18日（月） 【参加者】園児21名 カ 認定こども園SHINJO 【開催日】令和6年1月17日（水） 【参加者】園児23名 キ 小浜保育園 【開催日】令和6年1月19日（金） 予定 【参加者】園児11名（見込） ク 松原保育園 【開催日】令和6年1月24日（水） 予定 【参加者】園児22名（見込）</p> <div data-bbox="1249 1809 1437 2051" data-label="Image"> </div>

(2) 青森農業協同組合女性部南地域女性部（青森市）

農業の楽しさ、食の大切さを伝え継ぐとともに、地域の行事への参加を通じて地域との繋がりを大切にする心を育むため、本郷小学校児童を対象とした農作業体験や調理体験を実施する。

ア 稲刈体験

【開催日】令和5年9月22日（金）

【場 所】青森市浪岡本郷地区の水田

【参加者】児童・保護者90名

イ 収穫祭

【開催日】令和5年12月10日（日）

【場 所】本郷小学校体育館

【参加者】児童・保護者 計200名

【内 容】収穫したもち米で餅つき、きなこ餅や雑煮への調理加工体験

ウ 食育講話と米粉スイーツ調理体験

【開催日】令和6年1月28日（日）

【場 所】本郷小学校体育館

【参加者】児童・保護者 100名見込み

【内 容】本郷小学校で開催するカルタ大会で女性部による食育講話と昨年収穫したうるち米で米粉スイーツの調理加工体験

エ 食育アルバムの作成

【内 容】これまでの食育活動やレシピ等をまとめたミニアルバムの作成

【作成部数】60部

【配布先】本郷小学校児童及び関係者



稲刈体験



収穫祭の餅つき

取組2 中南地域県民局地域農林水産部

(1) 弘前市食生活改善推進委員会

弘前市健康ひろさき21（第2次）改訂版では、「1.働き盛りの健康アップ推進」、「2.子どものころから身につけよう健康習慣」を重要課題に捉えている。特に朝食を食べる子どもの割合が、平成24年では91.3%だったのに対し、令和3年では85.9%と悪化している。この現状・課題を改善するために、親子での調理実習を中心とした講座に参加する機会を提供する。

【内 容】

ア 体験講座

(ア) 野菜の味を知ろう

開催日：令和5年10月1日（日）

場 所：弘前市保健センター

参加者：親子9組20名

内 容：野菜スープとおにぎり作り。野菜の切り方、野菜汁の味、塩分濃度について学習。

(イ) りんご博士になろう

開催日：令和5年10月15日（日）

場 所：ヒロロ健康ホール

参加者：親子9組20名

内 容：りんごの歴史、種類、効能について学習。りんごを使ったデザート作り。

(ウ) オリジナルカレーを作ってみよう

開催日：令和5年10月29日（日）

場 所：ヒロロ健康ホール

参加者：親子13組30名

内 容：弘前近郊で作られている野菜や果樹について学習。オリジナルカレー作り。



イ 体験発表会

(ア) 発表会ポスター作り

開催日：令和5年11月12日（日）

場 所：ヒロロ

参加者：親子2組4名

内 容：11月26日発表会の資料作りと発表練習。

(イ) 発表会

開催日：令和5年11月26日（日）

場 所：ヒロロ

参加者：親子3組6名

内 容：ヒロロ食育フェスティバルにおいて来場者の前で発表。



取組3 西北地域県民局地域農林水産部

(1) 株式会社 SATO FARM

地元保育園と協力して、りんごの作業体験や絵本の読み聞かせ等、子ども達に効果的な方法を用いてりんごの知識や良さを広め、幼い頃から積極的にりんごを食べる習慣を身につけてもらう。

【内容】

ア 食育活動に使用するりんごに関する農業者目線の絵本の製作
事業担当者が撮影した園地の写真や、事業担当者が描くオリジナルのイラストを用いてりんごができるまでの畑の様子や、食べ方等を掲載し、生産者目線のコメントを入れて作成した。
(完成予定令和6年1月中旬)

イ 農業体験の実施

開催日：令和5年11月6日（月）

場 所：（株）SATO FARM園地

参加者：たていし愛児園 年長組7人

内 容：りんご園地見学、りんご収穫

ウ 絵本の読み聞かせと園児への配布

開催日：令和6年1月下旬（予定）

場 所：たていし愛児園

参加者：たていし愛児園児 約30人

内 容：完成した絵本を事業担当者が読み聞かせを行い園児に配布する。

エ りんごクッキング体験の実施

開催日：令和5年11月24日（金）

場 所：たていし愛児園

参加者：たていし愛児園 年長組6人

内 容：アップルパイづくりの体験



収穫体験の様子



クッキング体験の様子

(2) チームなないろ

日本の伝統調味料である味噌について専門家を講師として招き、親子で味噌玉作りを行うことで、味噌の知識を深めるとともに発酵食品の素晴らしさについて学び、「食と健康」について興味を持ってもらう。

【内容】味噌玉作り体験会の開催

ア 開催日：令和5年8月27日（日）

イ 場 所：浄土宗専念寺（五所川原市）

ウ 参加者：43人（大人18人、子ども25人）

エ 内 容：味噌に関するお話し

味噌玉づくりワークショップ

講師 加藤味噌醤油醸造元 加藤裕人氏

加藤諭絵氏



味噌玉作り体験会の様子

取組4 上北地域県民局地域農林水産部

(1) NPO法人 情熱七戸（七戸町）

親子で調理することにより、健康的な食生活に関する意識を醸成する。また、地元の二ツ森貝塚の歴史的価値を知ることによって子供達の郷土愛を育み、さらに縄文時代の食文化から地産地消や食品ロス、ゴミの削減への意識改革を促す。

【内 容】

ア 親子食育講座の開催

(ア) 開催日：10月8日～1月13日 計4回

(イ) 場 所：七戸町中央公民館ほか 計4か所

(ウ) 参加者：4回 計55名

(エ) 内 容：

二ツ森貝塚から見える縄文時代の食文化

講師：二ツ森貝塚ボランティアガイド

縄文時代から存在する健康食材を用いた調理教室

講師：発酵料理教室講師 小田桐梢氏



縄文時代の食文化について学ぶ



親子でクラムチャウダー作り

イ レシピカードの作成・配布

本講座の取組内容や使用したレシピのカードを作成し、町内公民館等へ配布する。（予定）

取組5 下北地域県民局地域農林水産部

地域における自発的かつ継続的な食育活動を推進するために、地域2団体に委託を行った。

(1) 笑顔あふれる料理教室 HAKKO FUNA-BAR (むつ市)

朝食を食べればいいということだけではなく、バランスが取れた食事の大切さを理解させ、実践させていくことで家庭での食生活の改善を目指す。

また、伝統的な発酵食品についての理解を深め、日常の食事に取り入れさせることにより、豊かな食生活を目指す。

【内 容】

ア 朝ごはん講座

【開催日】令和5年11月11日(土)

【場 所】field むつつのたね (むつ市)

【参加者】20名

【内 容】朝食の大切さに関する講義、おから味噌づくり(ワークショップ)、お味噌汁づくり・試飲



イ 発酵料理教室

【開催日】令和6年1月20日(土)

【場 所】field むつつのたね (むつ市)

【参加者】10名

【内 容】発酵についての基礎講座(講義)、発酵調味料を用いた料理教室



(2) 特定非営利活動法人シェルフオレスト川内（むつ市）
地域で漁獲される多種多様な魚の調理方法を普及することで、
魚の消費拡大を図る。

【内容】

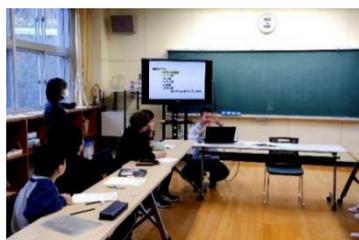
ア 脇野沢の魚について学ぶワークショップ

【開催日】 令和5年11月11日（土）

【場 所】 むつ市立脇野沢小学校（むつ市）

【参加者】 小学生7名

【内 容】 脇野沢地区の水産業の現状及び脇野沢漁港で水揚
されている魚について学習



イ 脇野沢の魚の料理教室（1回目）

【開催日】 令和5年11月19日（土）

【場 所】 むつ市立脇野沢公民館（むつ市）

【参加者】 むつ市内の親子11組25名

【内 容】 脇野沢漁港で水揚げされたマダイを捌き、その切
り身でにぎり寿司をつくり・試食



ウ 脇野沢の魚の料理教室（2回目）

【開催日】 令和5年11月26日（土）

【場 所】 むつ市立脇野沢公民館（むつ市）

【参加者】 むつ市内の親子9組19名

【内 容】 脇野沢漁港で水揚げされたマタイとブリを捌き、
その切り身でしゃぶしゃぶづくり・試食



	<p>エ 魚の食べ方図鑑の作成</p> <p>ワークショップや料理教室で作った料理のレシピなどに加え、魚の特徴などをまとめた魚の食べ方図鑑を作成し、脇野沢、川内地区の小中学生、むつ市内の飲食店等に配布した。</p>
<p>今後の取組方向</p>	<p>【中南地域県民局地域農林水産部】</p> <p>(1) 弘前市食生活改善推進員会</p> <p>現状は、食育活動に興味がある人が自ら申込み、事業に積極的に参加している。</p> <p>今後は、食育に特に興味がない人にも興味を持ってもらうため、小学校単位での声掛け・募集や、親子レク、放課後なかよしクラブ等での活動で、小さい時から健康教養（ヘルスリテラシー）を身につけた人の裾野を広げたい。</p>

事業名	地域みんなの食育推進事業								
第4次食育推進計画の位置付け	取組 1-(1)ア 基本方向 1-2、3-1 ----- 取組 1-(1)イ 基本方向 1-2、3-2 ----- 取組 1-(1)ウ 基本方向 1-2、3-2 ----- 取組 1-(1)エ 基本方向 1-3、2-1 ----- 取組 1-(2)ア 基本方向 1-5、2-1、2-3 ----- 取組 1-(2)イ 基本方向 1-5、2-3、3-1、3-3、 配慮すべき事項 2 ----- 取組 2-(1) 基本方向 1-1、3-1、配慮すべき事項 1 ----- 取組 2-(2) 基本方向 1-3、1-4、3-1 ----- 取組 2-(3) 基本方向 1-1、1-2、2-1 ----- 取組 2-(4) 基本方向 1-5、2-1~3、3-1~3、 配慮すべき事項 1								
趣 旨	全ての県民が健全で充実した食生活を実現できるよう、地域内での連携・協力による食育や、若い世代等の生活様式にあった効果的な取組を推進する。								
主な取組	<p>取組 1 地域で取り組む食育の推進</p> <p>(1) 世代に応じた食育の推進</p> <p>県民のライフステージに対応した食育を、各地域の食育関係者・団体等と連携しながら実施し、併せて食育指導者を育成。</p> <p>ア 農業高校生等による園児対象の食農体験会</p> <p>県内農業高校において、生徒が講師となり、園児を対象とした農作業体験及び調理・加工体験を実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">りんごジュース製造(五所川原農林高校) りんご収穫(柏木農業高校)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">実施校</th> <th style="width: 25%;">対象</th> <th style="width: 25%;">第1回目</th> <th style="width: 25%;">第2回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立五所川原農林高等学校</td> <td>認定こども園 第一さつき・ 第二さつき (五所川原市)</td> <td>絵入りりんごの フィルム作成体 験、果樹園視察 (令和5年9月20日) 園児16名参加</td> <td>りんごジュース 製造体験 (令和5年11月8日) 園児16名参加</td> </tr> </tbody> </table>	実施校	対象	第1回目	第2回目	県立五所川原農林高等学校	認定こども園 第一さつき・ 第二さつき (五所川原市)	絵入りりんごの フィルム作成体 験、果樹園視察 (令和5年9月20日) 園児16名参加	りんごジュース 製造体験 (令和5年11月8日) 園児16名参加
実施校	対象	第1回目	第2回目						
県立五所川原農林高等学校	認定こども園 第一さつき・ 第二さつき (五所川原市)	絵入りりんごの フィルム作成体 験、果樹園視察 (令和5年9月20日) 園児16名参加	りんごジュース 製造体験 (令和5年11月8日) 園児16名参加						

県立柏木農業高等学校	尾上保育園 (平川市)	りんご収穫体験 (令和5年11月6日) 23名参加	アップルパイづくり 体験 (令和5年12月4日) 23名参加
計2校	計3園	計4回	

イ あおもり食命人による児童・生徒対象の調理指導

小・中学校にあおもり食命人を派遣し、「地元の食材で料理をつくろう」をテーマに、食の知恵やマナー、地産地消などを学ぶ調理実習を実施。

学校名 (参加者)	開催日	内 容
五所川原市立五所川原第二中学校(3年生 18名)	令和5年 9月20日	けの汁、アップルパイ
佐井村立佐井中学校 (全学年 29名)	10月26日	汐ウニのクリームパスタ、アピオスのポタージュ 他
八戸市立中沢中学校 (2年生 16名)	11月21日	カボチャのクリームスープ、骨付き鶏肉のココナツカレー 他
青森市立筒井南小学校 (6年生 63名)	11月28日	みそ風味ミネストローネ 他
弘前市立船沢中学校 (3年生 15名)	11月29日	アップルフレンチトースト
東北町立甲地小学校 (5年生 15名)	11月30日	クリームチャウダー風、鮭ホイール焼き 他
計6校 156名		



あおもり食命人による調理指導 (弘前市立船沢中学校／東北町立甲地小学校)

ウ あおもり食育サポーター等による高校生対象の自炊塾

進学・就職等で一人暮らしをする可能性のある高校生の健全な食生活を支援するため、食材の活用や自炊方法について調理実習講座を開催。

実施校	開催日	内 容	講 師
県立青森高等学校	令和5年 7月26日 (16名)	はじめての自炊 ～一汁三菜って!!～	福士るみ子氏 (料理研究家、管理栄養士)
	令和5年 8月21日 (23名)	野菜を食べよう！目標1日350g無理なく&美味しく食べるコツ	小林潤子氏 (野菜くだもの料理教室主宰、野菜ソムリエプロ)
県立青森西高等学校	令和5年 8月7日 (18名)	はじめての自炊 ～野菜を食べよう!!～	福士るみ子氏 (料理研究家、管理栄養士)
	令和5年 11月9日 (14名)	はじめての自炊 ～郷土料理を作ろう～	徳差知子氏 (ViC・ウーマン) 佐藤智子氏 (ViC・ウーマンOG)
県立三本木農業恵拓高等学校	令和5年 10月3日 (27名)	はじめての自炊 ～野菜を食べよう!!～	福士るみ子氏 (料理研究家、管理栄養士)
	令和5年 10月13日 (27名)	はじめての自炊 ～郷土料理を作ろう～	中村陵子氏 (あおもり食命人、野菜ソムリエプロ)
計3校	計6回		



自炊塾での調理指導（三本木農業恵拓高校1回目／青森高校2回目）

エ 管理栄養士による働き盛り世代対象の企業の食生活改善セミナー

社員を対象に健康的な食生活に関する研修会を行う企業に、講師として管理栄養士を派遣。

企業名・参加者数	開催日	テーマ・講師
株式会社青森資源 (青森市) 計31名	令和5年 7月12日	<ul style="list-style-type: none"> 朝食を食べない社員へのアドバイス 生活習慣病の予防 禁煙・飲酒に関するアドバイス 管理栄養士 成田真澄氏
	7月14日	
彦建設株式会社 (東北町) 8名	7月28日	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の予防 朝食、昼食の作り方(1人暮らしへのアドバイス) 高血圧にならないためには 管理栄養士 白山八千代氏
富士電機津軽セミコンダクタ株式会社 (五所川原市) 42名	8月29日	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙、飲酒に関するアドバイス 生活習慣病の予防 管理栄養士 佐々木裕美子氏
株式会社小坂工務店 (三沢市) 10名	9月12日	<ul style="list-style-type: none"> 高血圧と減塩 コレステロールと脂質・減塩に関する事 管理栄養士 白山八千代氏
千葉設備工業(株) (青森市) 8名	9月13日	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の予防と免疫力を高めるための食事について 管理栄養士 成田真澄氏
山内土木株式会社 (むつ市) 57名	9月29日	<ul style="list-style-type: none"> 短命の要因と食生活改善 健康寿命を延伸するための取組 管理栄養士 成田真澄氏
社会福祉法人千年会 障害者支援施設 千年園 (弘前市) 25名	10月11日	<ul style="list-style-type: none"> 不規則な勤務形態での食生活改善 特保、機能性表示食品、サプリメントなどの有効な使い方とその効果など 管理栄養士 阿部直子氏
六ヶ所原燃警備株式会社 (六ヶ所村) 計47名	11月16日	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病(脂質異常や肝機能障害等)の改善のための食事について 管理栄養士 白山八千代氏
	12月12日	
東興電気株式会社 (三沢市) 8名	11月29日	<ul style="list-style-type: none"> 飲酒喫煙に関するアドバイス 生活習慣病の予防 管理栄養士 白山八千代氏
千葉電機設備株式会社 (黒石市) 14名	12月28日	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の予防 飲酒に関するアドバイス 管理栄養士 阿部直子氏
計10社250名	計12回	



セミナーの様子 (山内土木(株)/東興電気(株))

(2) 地域コミュニティによる食育の推進

ア 「共食の場」のニーズに応じた食育出前講座

「共食の場」（子ども食堂、高齢者サロン等）での食育活動を推進していくため、講師（あおもり食命人、管理栄養士等）を派遣し、食育講座を実施。

団体名	区分 (※)	開催日・人数	テーマ	講師
ちょうじゃこども食堂 (八戸市)	子	令和5年 9月24日 15名	郷土料理を知ろう ～せんべい汁・きんか餅～ (調理体験)	あおもり食命人・ 野菜ソムリエ プロ 中村陵子氏
馬門地区自治会 (野辺地町)	高	令和5年 9月25日 17名	バランスのとれた 食事をしよう (講話)	柴田学園大学 生活創生学部 健康栄養学科 教授 前田朝美氏
じょっぱり弘前支部 (弘前市)	高	令和5年 10月7日 11名	バランスのとれた 食事をしよう (講話)	柴田学園大学 生活創生学部 健康栄養学科 教授 前田朝美氏
有戸地区自治会 (野辺地町)	高	令和5年 10月30日 11名	バランスのとれた 食事をしよう (講話)	柴田学園大学 生活創生学部 健康栄養学科 教授 前田朝美氏
楽しく集うふれあい会 (十和田市)	高	令和5年 11月16日 12名	郷土料理を知ろう ～うばたまぐり～ (調理体験)	十和田発酵 食文化協会 会長 矢部聖子氏
(一社)フェリー ーチェあおもり (青森市)	子	令和5年 11月26日 25名	地元食材の魅力 ～りんごを使った 豚汁・はんぺん焼 き～ (調理体験)	柴田学園大学 短期大学部 生活科 講師 安田智子氏
計6回		計91名	※高→高齢者サロン 子→子ども食堂・子ども会	



食育出前講座の様子（ちょうじゃこども食堂／馬門地区自治会）

イ 「共食の場」ネットワークづくりの支援

農林水産業で発生する未利用農林水産産物（規格外品等）の「共食の場」における利用促進や、「共食の場」の課題解決・新規取組団体の掘り起こしに向けた情報交換等を実施。

- ・あおもり「みんなの食堂」と農林水産業のネットワークの概要（令和3年1月18日設立）

【活動内容】

- (ア) 「共食の場」へ提供可能な食材の情報収集と提供（マッチング）

あおもり「みんなの食堂」と農林水産業のネットワーク
マッチングサイト

URL : <http://shokudou.aosyakyu.or.jp/>

- (イ) 会員の活動に必要な情報提供

- (ウ) その他、必要な活動

【会員数】 「共食の場」運営団体、生産者等 47団体
(令和5年度新規加入 5団体)

【実績】 令和5年度マッチング件数 6件
(令和6年1月現在)



提供を受けた食材とこども食堂（はちのへ未来ネット）の様子

2 若い世代等に対する効果的な食育の推進

(1) オンライン食育講座の実施

子育て世代等を対象に、「産地から食卓に届けられる安全安心・美味しい『食のリレー』」をテーマにオンライン食育講座及び食育動画を作成・配信。

※配信方法：ライブ配信。後日、アーカイブ動画をYouTube「青森県食の安全・安心推進課」チャンネルで配信

回	開催日	テーマ
1	令和5年 8月20日	教えて！美味しさの訳！ 自慢の宝物「つがるブランドメロン」
2	10月1日	え、これもそうなの？ 色々な食べ物に変身する 「大豆」に注目
3	11月19日	食リレーのアンカー役！ 「スーパーマーケット」 のプロに密着



(2) 野菜を食べようキャンペーンの実施

ア 「野菜を食べようキャンペーン」
野菜摂取量アップに向けた県内量販店等協力店における「野菜を食べようキャンペーン」（毎年8月31日～11月30日）を実施。

【キャンペーン協力店】
378店舗（令和5年度）



イ コンビニ野菜レシピ集の作成
20～30歳代の若い世代の県民を対象に、野菜摂取を促すリーフレット（コンビニ野菜レシピ集）を作成し、県内コンビニエンスストア等に配布。



【冊子名】 コンビニベジうまめし3
【部数】 15,000部

(3) 野菜で健康大作戦セミナーの開催

野菜で健康大作戦協力店関係者や食育活動に取り組む食育指導者等を対象に、県民の野菜摂取量アップに向けた取組を行う際に役立つセミナーを開催。



【テーマ】 カット野菜・冷凍野菜で、野菜たっぷりベジうまめしをつくろう！
講師：自宅れすとらん「こんみど」主宰 尾崎優氏
栄養士 成田茂子氏

	開催日	場所	参加人数
弘前会場	令和5年11月22日	弘前市総合学習センター	19名
八戸会場	令和5年11月28日	八戸市根城公民館	4名
青森会場	令和5年11月30日	アピオあおもり	21名
計3回		合計44名	

	<p>(4) あおもり食育推進大会2024の開催（予定）</p> <p>食育指導者や一般県民等を対象に、「『共食の場』から広げる食育」をテーマに、知事との対話や有識者の講話等を行うあおもり食育推進大会を開催。</p> <p>【開催時期】 令和5年3月8日</p> <p>【場 所】 東奥日報新町ビル New's ホール</p> <p>【内 容】</p> <p>ア 知事との対話 登壇者：知事、講師、「共食の場」関係者等</p> <p>イ 講話 テーマ：「共食の場」の現状や重要性について（仮） 講 師：弘前大学教授 李永俊氏</p> <p>ウ 関係団体・企業等による展示ブース</p> <p>エ パネル展示 青森県の食育の取組、令和5年度食育活動実践プロジェクト等の紹介</p>
<p>今後の取組方向</p>	<p>引き続き、全ての県民が健全で充実した食生活を実現できるよう、地域内での連携・協力による食育を進める。また、野菜・果物の摂取量を増やすなど食生活改善に向け関係部局と連携した取組を推進していく。</p>

8 りんご果樹課

事業名	果物食べて健康応援プロジェクト事業									
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-2、基本方向1-5									
趣 旨	県民の健康づくりと県産果物の消費量拡大を図るため、「食」と「運動」に結びつきの強い地域のスポーツ団体等と連携した食育活動を推進する。									
主な取組	<p>1 スポーツ団体と連携した啓発活動の実施</p> <p>(1) 発信力の高いスポーツ団体（ブランデュー弘前FC）が果物の食育活動を展開（5月～12月）</p> <p>(2) スポーツ競技者向けの果物健康機能性研修会を開催</p> <p>ア 内 容 講義：スポーツ栄養と果物の役割を知ろう 実習：県産果物を活用した簡単な補食を作ろう</p> <p>イ 開催日等</p> <table border="1" data-bbox="491 1077 1426 1294"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年10月1日</td> <td>三沢市立中央公民館 調理実習室</td> <td>ヴァンラーレ八戸FC選手9名、サポーター15名</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月21日</td> <td>千葉学園高等学校 調理実習室</td> <td>ヴァンラーレ八戸FC選手7名、千葉学園高校生徒16名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 青森りんごで健康応援隊が所属する3団体へ委託し、地域スポーツ団体を対象に果物の食習慣づくり活動を実施（7月～1月）</p> <p>2 関係団体と連携した小学生とその親世代への啓発の強化</p> <p>(1) 県内の小学校において、青森りんご出前授業を開催</p> <p>ア 開催日 令和5年11月10日～令和6年1月31日</p> <p>イ 場所 青森市立新城中央小学校など 37校</p> <p>ウ 参加人数 1,701名</p> <div data-bbox="1043 618 1426 860" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1066 869 1394 965">ブランデュー弘前FCの選手が子どもたちにりんごの活用術を伝える</p> <div data-bbox="1043 1514 1426 1800" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1107 1816 1353 1845">青森りんご出前授業</p>	開催日	場所	参加人数	令和5年10月1日	三沢市立中央公民館 調理実習室	ヴァンラーレ八戸FC選手9名、サポーター15名	令和5年10月21日	千葉学園高等学校 調理実習室	ヴァンラーレ八戸FC選手7名、千葉学園高校生徒16名
開催日	場所	参加人数								
令和5年10月1日	三沢市立中央公民館 調理実習室	ヴァンラーレ八戸FC選手9名、サポーター15名								
令和5年10月21日	千葉学園高等学校 調理実習室	ヴァンラーレ八戸FC選手7名、千葉学園高校生徒16名								
今後の取組方向	<p>1 りんごや果物が持つ健康に対する機能性について、スポーツを1つの切り口として情報発信</p> <p>2 青森りんご出前授業の開催による果物の食育活動の継続的な取組</p>									

9 畜産課

事業名	畜産経営基盤の継承支援事業		
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-2		
趣旨	県内の小中学生等を対象とした畜産に係る出前授業及び施設見学研修を実施し、畜産業の担い手確保を図る。		
主な取組	県内の小中学生及び高校生に対し、食鳥処理及び鶏肉加工施設や畜産農場の見学研修を実施した。		
	【委託先】（一社）青森県畜産・飼料コンビナート振興協会		
	日付	研修名	場所
	7/11	食鳥処理及び鶏肉加工施設見学	プライフーズ（株）細谷工場・細谷プロセスセンター（三沢市）
	9/20	酪農生産農場見学	NAMIKI デーリーファーム（野辺地町）
11/2	肥育牛生産農場見学	（株）イチカワファーム（八戸市）	
		参加人数	三本木農業恵拓高等学校生・営農大 学校生 43名
			野辺地小学校5年生 41名
			島守小学校1～3年 生 26名
			
			
	<p style="text-align: center;">食鳥処理施設等見学研修</p>		
	<p style="text-align: center;">肥育牛生産農場見学研</p>		
今後の取組方向	次年度も同様の取組を継続し、畜産業の理解醸成を図る。		

10 農村整備課

事業名	中山間地域ふるさと活性化事業（H5～）																																	
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向3-1																																	
趣旨	農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図ることを目的とした、地域住民活動を推進する人材の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等の活動に対して支援等を行った。																																	
主な取組	<p>食育に関連した取組への支援等内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 米づくりに必要な農業用水や農業水利施設の役割を学ぶための見学会の実施に対する支援。 2 “きれいな水”の大切さを理解してもらうための生き物観察会などの実施に対する支援。 3 将来を担う子供たちと消費者であるその親たちを対象に、「環境公共」の取組が本県の豊かでおいしい農林水産物の生産を下支えしていることをPRする体験学習会を実施。 <p>体験学習会実施状況</p> <table border="1" data-bbox="435 1010 1401 1532"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>研修名</th> <th>内容</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/22</td> <td>ふるさと水土里ふれあいの旅 2023</td> <td>ため池・頭首工見学、生き物観察、環境公共学習等</td> <td>青森市</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>7/18</td> <td>大川原 未来へつなぐ体験学習会</td> <td>そば播種、収穫、製麺、試食、環境公共学習等</td> <td>黒石市</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>8/3</td> <td>第9回たっこ魅力探検隊</td> <td>ほ場整備の説明受講、補足体験、環境公共学習等</td> <td>田子町</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>10/5</td> <td>「山・川・海の恵みに感謝！」水と大地の探検隊</td> <td>頭首工・ポンプ場見学、ろ過実験、環境公共学習等</td> <td>中泊町</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>10/11</td> <td>天間ダム学習会</td> <td>天間ダムの見学、ダムの役割や環境公共学習等</td> <td>七戸町</td> <td>44名</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="456 1541 911 1883" style="text-align: center;">  <p>農業水利施設の見学会</p> </div> <div data-bbox="935 1541 1390 1883" style="text-align: center;">  <p>環境公共の体験学習会</p> </div> </div>				日付	研修名	内容	場所	参加人数	6/22	ふるさと水土里ふれあいの旅 2023	ため池・頭首工見学、生き物観察、環境公共学習等	青森市	13名	7/18	大川原 未来へつなぐ体験学習会	そば播種、収穫、製麺、試食、環境公共学習等	黒石市	10名	8/3	第9回たっこ魅力探検隊	ほ場整備の説明受講、補足体験、環境公共学習等	田子町	9名	10/5	「山・川・海の恵みに感謝！」水と大地の探検隊	頭首工・ポンプ場見学、ろ過実験、環境公共学習等	中泊町	25名	10/11	天間ダム学習会	天間ダムの見学、ダムの役割や環境公共学習等	七戸町	44名
日付	研修名	内容	場所	参加人数																														
6/22	ふるさと水土里ふれあいの旅 2023	ため池・頭首工見学、生き物観察、環境公共学習等	青森市	13名																														
7/18	大川原 未来へつなぐ体験学習会	そば播種、収穫、製麺、試食、環境公共学習等	黒石市	10名																														
8/3	第9回たっこ魅力探検隊	ほ場整備の説明受講、補足体験、環境公共学習等	田子町	9名																														
10/5	「山・川・海の恵みに感謝！」水と大地の探検隊	頭首工・ポンプ場見学、ろ過実験、環境公共学習等	中泊町	25名																														
10/11	天間ダム学習会	天間ダムの見学、ダムの役割や環境公共学習等	七戸町	44名																														
今後の取組方向	中山間地域の活性化を図るため、次年度も同様の取組を継続し、地域住民活動等を推進・支援する。																																	

1 1 水産振興課

事業名	若者世代に向けたあおもりの魚食普及事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-2、1-3
趣 旨	大学生や社会人等、20代～40代をターゲットとして、漁業者を講師とした魚食普及の講習の実施により、県産水産物の需要に働きかけ、健康増進にも繋がる魚食の習慣化を目指す取組を実施する。
主な取組	<p>漁業者を講師として、漁業者自らが漁獲した水産物を使用した調理講習会を、大学や民間企業等の若者世代のべ331名に対し、計26回実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
今後の取組方向	調理講習の実施に加え、SNSを活用した情報発信に取り組み、魚食の普及を行う。

12 スポーツ健康課

事業名	学校給食レシピコンテスト
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-2
趣旨	地場産物を活用した食育を推進するとともに、学校給食に対する児童生徒の関心を高めるため、青森県産の食材を使った、家庭でも簡単に調理でき、学校給食でも提供できる、児童生徒のアイデアを活かした料理のレシピのコンテストを行う。
主な取組	<p>募集期間 令和5年4月27日～9月25日</p> <p>対象者 小学校、中学校及び特別支援学校の児童生徒</p> <p>応募数 小学校の部 110点 中学校の部 529点 特別支援学校の部 4点</p> <p>県教育委員会、公益財団法人青森県学校給食会をはじめとする主催者等において書類審査及び試食審査を実施し、最優秀賞及び優秀賞を決定。入賞レシピを県教育委員会及び公益財団法人青森県学校給食会ホームページに掲載し、学校給食等への活用を啓発している。また、各協賛団体より県産食材を副賞として入賞者へ贈呈してた。</p>
今後の取組方向	引き続き、地域の小学校・中学校・特別支援学校、家庭や地域社会が一体となり、児童生徒が郷土の食文化への理解を深められるような取組の推進を図る。

事業名	体育・食育の楽しさアップ研修会
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-2
趣旨	<p>本県の子どもたちの健康課題解決のために、小学校中学年担任等を対象に、小学校学習指導要領に則った「楽しい体育」の実現と「食に関する指導」の具体的な授業構成及び指導方法について体験的に研修を行い、小学校教職員の資質向上を図る。</p>
主な取組	<p>【講義演習】</p> <p>講義 小学校中学年における楽しい食育の指導 講師 武庫川女子大学 藤本勇二氏 演習 簡単な朝食づくり「おにぎりともそ玉」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開催日 令和5年8月16日(水) 対象者 西北地区の小学校中学年担任等(各校1名悉皆) 参加人数 小学校教諭27名、栄養教諭等3名 2 開催日 令和5年8月17日(木) 対象者 中南地区の小学校中学年担任等(各校1名悉皆) 参加人数 小学校教諭49名、栄養教諭等3名 3 開催日 令和5年8月18日(金) 対象者 東青地区の小学校中学年担任等(各校1名悉皆) 参加人数 小学校教諭47名、栄養教諭2名 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>
今後の取組方向	<p>R6は、三八、上北、下北地区の小学校中学年担任等(各校1名悉皆)及び栄養教諭等(希望者)を対象に研修会を実施予定。</p>

1 3 東青地域県民局地域健康福祉部保健総室

事業名	東青地域家族で実践する健やか力向上事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-1、1-2、1-3、2-1
趣 旨	働き盛り世代の健康課題解決のため、事業所単位のみならず、家族または次世代を担う子どもにも着目した事業を実施し、健康に関する正しい知識の習得及び主体的な健康づくりの実践をすすめることで地域全体の健やか力向上を目指す。
主な取組	<p>1 「働き盛りのあなたのこころを動かす」健やか力向上事業</p> <p>働き盛り世代の若手農業・漁業従事者やその家族等、当事者のアイデアを取り入れた健康づくりメニューを作成し、働き盛り世代の健やか力向上につながる取組を推進した。</p> <p>(1) 働く人の元気を考える会</p> <p>【回数】5回</p> <p>【内容】健康づくりをテーマとした動画の企画、制作</p> <p>【参加者】農業・漁業・畜産業従事者、管理栄養士、健康運動指導士、県立保健大学『おかずみそ汁健やか力向上委員会』メンバー、地域コーディネーター、市町村等</p> <p>(2) 健康講座</p> <p>【日時】令和5年7月4日（火）</p> <p>【場所】蓬田村トマト団地</p> <p>【参加者】トマト生産者、農協職員等 24名</p> <p>【内容】働く人の元気を考える会で考案した運動メニューの実践と、おかず味噌汁の試食</p>  <p>(3) 普及啓発</p> <p>健診・栄養・運動についてまとめたリーフレット（働く人の元気を考える会メンバーが制作）を配布した。（町村健診会場、健康教室会場、勤務先の薬局、大学祭、村民祭等）</p> <p>2 「親子で育む」健やか力向上事業</p> <p>家族及び次世代の健やか力向上のため、児童と保護者を対象とし、健康習慣の基本となる栄養に焦点をあてた啓発と意識の醸成を図った。</p> 

(1) 食育実習

【回数】 3回

【参加者】 ①今別町立今別小学校5年生8名、保護者4名

②外ヶ浜町立三厩小学校4・5年生9名、保護者4名

③平内町立東小学校5年生9名、保護者9名

【内容】 「栄養や食事について学び、家庭の食事を見直そう」

- ・ 甘い飲み物の飲み方に関する学習
- ・ 食育 SAT システムを使用した食事バランスに関する学習
- ・ 県立保健大学生考案の、地元食材を活用した、児童が1人で作れる簡単レシピの紹介・試食

(2) 冬休み栄養チャレンジ

冬休み期間中に食育実習で学習した内容を実践してカードに記入するとともに栄養に関する標語を作成した。

(3) 食育カレンダーの作成

食・栄養に関するクイズ、簡単レシピ、標語を掲載したカレンダーを作成し管内の小学校高学年に配布。

【作成部数】 500部



今後の取組方向

重点事業は今年度で終了となるが、今後は市町村が中心となり、関係機関と連携した取組を継続できるように支援していく。

1 4 下北地域県民局地域農林水産部

事業名	高校生ボランティアによるチャレンジ野菜ショップ
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-5、3-1
趣旨	農業に対する理解促進と食育の推進を図るため、「しもきたマルシェ」のボランティアスタッフとして参加している高校生に、プランターを用いた野菜の栽培と収穫した野菜を利用した加工・販売体験を通じて野菜の栽培～販売までの一連の流れを理解してもらう企画の実施を支援した。
主な取組	<p>1 野菜の植付、栽培管理 日 時：令和5年5月14日（日）～8月8日（火） 場 所：ミルク工房ボン・サーブ（むつ市）ほか 参加者：青森県立大湊高等学校生徒3名 講 師：中村農園 代表 中村貞幸氏ほか 内 容：プランターにミニトマト苗を定植し、その後の栽培管理の方法についてSNSを通じて「しもきたマルシェの会」会員が助言・指導を行った。</p> <p>2 調理・加工体験 日 時：令和5年8月9日（火） 場 所：和風ダイニングみつのや。（むつ市） 参加者：青森県立大湊高等学校生徒2名 講 師：和風ダイニングみつのや。料理長 大平博信氏 内 容：高校生が自ら育てたミニトマトと「しもきたマルシェの会」会員が生産した野菜を使用し、「野菜と鶏肉のトマト煮」の調理体験を行った。</p>   <p>3 販売体験 日 時：令和5年8月11日（金・祝） 場 所：ミルク工房ボン・サーブ（むつ市） 参加者：青森県立大湊高等学校生徒3名 内 容：和風ダイニングみつのや。料理長 大平博信氏の監修のもと、高校生自らが調理・加工した「野菜と鶏肉のトマト煮」30食分の販売体験を行った。</p> 
今後の取組方向	今後も「しもきたマルシェの会」が実施する食育活動について支援し、食育の啓発に努める。

事業名	下北地域の農産物を活用した「地産地消ピザ」「地産地消ガレット」づくり体験の提供
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-2、2-3
趣旨	<p>次の2点の体験を提供した「むつ下北地区指導農業士会」の取組を支援。</p> <p>1 「子ども食堂」におけるピザづくり体験では、①自らの手で食材に触れ、皆で料理をする楽しさや食べる喜びを感じてもらうとともに、②食の大切さ、食への興味を広げ、③温かな団らんのある共食の場を提供し、児童の福祉向上と食育推進に貢献することを目的に開催。</p> <p>2 高校PTAや高校生等を対象としたガレットづくり体験では、①下北特産であるそば粉の新たな可能性を探るとともに、②食生活の自立を控えた高校生への食育を進めることを目的に開催。</p>
主な取組	<p>1 地産地消ピザづくり体験（令和5年10月28日） むつ市内の「子ども食堂」利用者、13家族41名が参加。下北地域の農産物（1株1果穫りかぼちゃソースとトマトソース）を活用したピザづくり体験の場を提供した。</p> <p>2 地産地消ガレットづくり体験（令和5年12月2日） 東通村において、県立田名部高校のPTA、生徒及び教員等計30名が参加。生地のはそば粉は東通村産で、トッピングに下北地域の多様な農林水産物を約15種類使用した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>子ども食堂でのピザづくり体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高校PTA対象のガレットづくり体験</p> </div> </div>
今後の取組方向	1及び2とも好評であり、連携した子ども食堂、高校PTAとも次回開催を希望していることから、来年度も継続して体験の場を提供する。

事業名	調理講座「しもきたピザ」づくり体験の開催
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-5、3-1
趣旨	下北産の食材を用いたピザづくりをとおして、地域活性化と地産地消を推進する「しもきたマルシェの会」の取組を支援した。
主な取組	<p>令和5年11月19日（日）、会員である飲食店の指導のもと、親子5組13名が会員が生産した農畜産物で作ったトマトソースやかぼちゃソース、モッツァレラチーズなど下北の食材を用いたピザ（＝しもきたピザ）づくりを行った。</p>  
今後の取組方向	今後も産直市「しもきたマルシェ」において、消費者を対象とした調理体験教室を開催し、地産地消を啓発していく。